大分都市広域圏での

連携事業数 (累積)

☆幹事会以下7つの専門部会における広域的課題に対する取組

☆全県下共同消防指令システムの整備

17事業

21事業

豊後大野市「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体像

人口ビジョン 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略【2021(令和3)年度から2025(令和7)年度の5カ年:第2次総合計画後期基本計画と整合】 目標値 将来像 基本目標 基本的方向 具体的な取組 基準値 中長期展望 (KPI)(2025年度) ◆合計特殊出生率の低下 ☆GAP等認証制度の推進 ☆新規就業者の確保・育成 ①-1 ブランド化、生産・販路拡大への取組 典業生産類 6.4 億円 8 2 億円 基本目標① ☆女性の経営参画の促進 ☆農地利用集積の推進 ◆止まらない社会滅 農産物等の加工品のブランド認証を推進し、特産品の情報発信を強化します。また、企業参入やスマート農業、6次 ☆高収益園芸品目への転換支援 ☆情報発信の強化 加工ブランド認証数 5.0品目 豊かなくらしと 産業化の推進等により農産物の生産・販路拡大を図ります。 ☆異業種法人等企業参入の推進 ☆日本型直接支払制度の推進 (累積) 【人口減少の加速化】 しごとを創る 2015年 36,584人 (国勢調査) ①-2 企業誘致、創業支援 ☆相談体制の充実 ☆情報サービス業 インターネット付随サービス業の誘致 立地企業数 (累積) 10件 5件 <数値目標> ☆先端設備等の導入に取り組む企業に対しての支援 2020年 33,810人 (社人研推計) 地場企業への支援や情報関連事業者への補助等を行い、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図ります。また、関係 ☆「テレワーク」の推進 ☆中小企業や小規模企業に対する経営安定化の支援 就業人口18.500人以上 2030年 28.323人 起業・創業件数 22件 機関と連携して窓口相談やセミナー開催などに取り組みます。 ◇個性ある個店への伴走刑支援 ◇企業会同説明会の盟催 2040年 23,484人 (2019年度:17.214人) 2045年 21.173人 新卒者の就職者数30人以上 ①-3 先端技術への挑戦 2065年 13.874人 ☆スマート農業の推進 スマート農業技術 (2019年度:26人) ☆ICTを活用した介護予防システムの導入と推進(再掲) 3事業 ロボット技術やICTを活用したスマート農業の推進や、自立支援ケアマネジメントシステムの導入等、先端技術を利活用した ☆行政におけるリモートワーク環境の整備やAIやRPAツールの活用 生産性向上等の取組を支援します。また、国の行政業務デジタルシフト構想への対応も行っていきます。 ◆目指すべき将来の方向 ☆ポテンシャルある女性の就業機会創出への取組 ②-1 女性の活躍推進 ☆女性の活躍を支援するための講座の開催 各種審議会等委員 自然減と社会減を抑え、 5.0% ◇市民 企業 団体等への女性委員や管理職等の結構的な登用の推進 34 5% の女性登用率 企業等と連携して、女性が安心して働き続けることのできる労働環境の整備に取り組みます。また、地域等において ☆ワーク・ライフ・バランスの推進 ☆子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備(再掲) 活動する女性の支援・育成に努めます。 「人口減少を抑制しつつ、 将来の人口増加に向けて地 ☆市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 105組 5 年後婚姻数推計值 105組 人 域の活力を維持すること| ☆出会いサポートサンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 2-2 結婚・妊娠・出産・子育で・教育環境の充実 ☆地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ŧ 地域子育で支援セン 6 か所 5 か所 ☆子育で支援情報の提供、相談・助言の体制整備 が重要。 ター実施筒所数及び 自 9. 685人 15.000人 ☆放課後児童クラブ・児童館の充実 ☆子どもの貧困対策の推進 利用人数 (累積) 豊かなひとを育む 結婚から妊娠、出産、子育てまでの「切れ目のない支援」を行い、子どもを牛み育てやすい環境づくりを行います。 ☆多様な保育サービスの充実 ☆小中一貫教育校設置の推進 然 よろしく会員の また、キャリア教育の推進など教育環境の充実や地元高校への支援等により、豊後大野市の将来を担う子どもを育 ☆キャリア教育の推進 ☆コミュニティ・スクールの充実 ☆郷土学の推進 62人 100人 利用人数 (累積) ☆安全で快適な学校(幼稚園)施設・設備の充実 アキす ŧ ◆目標値 ☆経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 小·中—貫教育校 7 校 <数值目標> ☆大分県立三重総合高等学校への支援 設置数 (累積) シ 合計特殊出生率1.72以上 【自然動態】 ☆介護サービスのより身近で細やかなサービス提供体制の構築 (2019年度:1.5) P 合計特殊出生率の上昇 (仮定値) ②-3 高齢者の活躍推進 ☆元気高齢者及び要支援高齢者の自立支援 2025年 1.72 ☆ICTを活用した介護予防システムの導入と推進 里性 79 29歳 里性 80 51歳 ワ ☆コミュニティカフェや認知症カフェ等の「通いの場」の活動支援 健康寿命 2030年 1.93 女性 8.4 1.6歳 女性 85.10歳 自立支援ケアマネジメントシステムの導入等により、高齢者が生涯現役を目指し、健康で生きがいをもって暮らして ☆高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施 2040年 2.24 t ☆マイナンバーを活用した医療保険情報と介護保険データベースの連結利用 いけるような取組を強化していきます。 2045年以降 2.30 ☆高齢者の有償ポランティアや就労の推進 ☆生涯現役生産者への支援 な 【社会動態】 の点施設の利用者数(累積) 5,200人 ま ☆多機能型関係人口拠点施設の整備 ②-4 関係人口の創出・拡大 社会増 (仮定値) 拠占施設の利活用による 22件 ☆-- 拠占居住による新しいライフスタイルの提供 新規事業創出数 (累積) 2025年まで 社会増減均衡 ち 観光やふるさと納税による交流人口の拡大とともに、他出子等の関係人口の創出・拡大に向けた取組により、市民と ☆都市住民、市民、地域外企業、地元企業、観光客等が交流する機会の提供 2025年以降 +107人 (毎年) 拠点施設で行うイベント・ ☆自治会等による他出子の組織化. ☆ローカルベンチャーの立ち上げの支援 市外の人材による地域の担い手づくりを推進します。 400人 ジオガイド認定者数 80人 130人 ☆体験型自然教育や自然保護思想の啓発等の自然教育の推進 ③-1 ジオ・自然との共生 (思結) ☆ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品の造成 オパークフレンドショッ 3 4 事業所 45事業所 ☆「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会|事業の推進 2065年の人口は 豊後大野市の地域資源を保護し、自然と共生した持続可能な発展のための各種事業に取り組みます。また、自然教育 ☆ユネスコエコパークの普及啓発活動の推進 エコパーク普及啓発活動 ☆本市独自のユネスコエコパーク次世代育成事業 活動を推進し、豊かな自然の恵みを将来に引き継ぎます。 130人 700人 社人研推計値と比較して 自然学習会参加者数 豊かな自然・地域を 6,735人の増加 ☆ウェブサイトやSNSを活用した地域の魅力的な情報発信と情報拡散の取組 未来へつなげる ③-2 移住・定住の促進 100人 1- トス移住去数 ☆インキュベーションファーム事業による移住者への支援 地方への移住・定住の機運が高まる中で、市の魅力や情報を積極的に発信するとともに、空き家バンクや移住補助金 ☆移住コーディネーターとの連携による相談支援体制の強化の取組 3組6人 3組6人 事業による移住者数 ☆関係人口の創出・拡大のための取組 等の活用により移住・定住を促進します。 **地域振興協議会設置数** ☆地域コミュニティの集いの場の環境整備 ③-3 小規模集落の支援 7協議会 15協議会 <数値目標> (累積) ☆地域の特性を生かしたコミュニティ活動の推進 社会増減の均衡 小規模集落の維持・活性化に向け、地域を支える人づくりやコミュニティづくり、集落外から地域を支える仕組みづ ☆地域を支える人材育成 地域の支え合い活動 14か所 (2019年度:△218人) ☆地域の支え合い活動立上げの支援 くりを行うなど、総合的に支援します。 立上げ (累積) ☆地域資源を有効に活用した施策の展開 ③-4 広域連携の促進

大分都市広域圏ビジョンに基づき、構成市町との連携・ネットワーク化を図り、市民サービスの向上を目指します。